

株式会社松屋フーズ（川島生産物流センター）

埼玉県比企郡川島町／食料品製造業
HP : <https://www.matsuyafoods.co.jp/>

共同申請者：武州瓦斯株式会社

令和2年度事業

補助対象経費 **2億7,239万円**
補助金 **6,809万円**

※金額は申請時の額

事業概要

松屋フーズは、1966年に創業し、牛めし・カレーなど提供する「松屋」を全国で展開しています。その中で、川島生産物流センターは主力商品を支える食材である肉類の専用加工ラインを設置し、精肉の検品・加工・箱詰めを行っているとともに、全国の店舗へ食材を供給する物流拠点としての機能も備えています。本事業では、埼玉県を中心に都市ガスやガス機器・電力販売を行う武州瓦斯とリース契約を締結し、コージェネレーションシステムを導入し、高効率な電力を発電するとともに排熱を有効利用する事業になります。



事業者メッセージ

当社のガスコージェネレーションシステムの導入は、自然災害（台風、地震）等による外部電源遮断時に工場操業を継続するBCPのプロジェクトがきっかけでありました。また、工場の生産物量が年々増加していく中、電気、ガス使用量も増加していた状況であり、省エネ、省CO₂に非常に苦労しており、両課題の解決策として導入に至りました。導入後は、発電機の発電、排熱で生成された蒸気、給湯を使用する事により、省エネ、省CO₂を実現出来ました。

省エネ効果

事業所全体の
エネルギー使用量

2,128.2(kl/年)

省エネルギー量

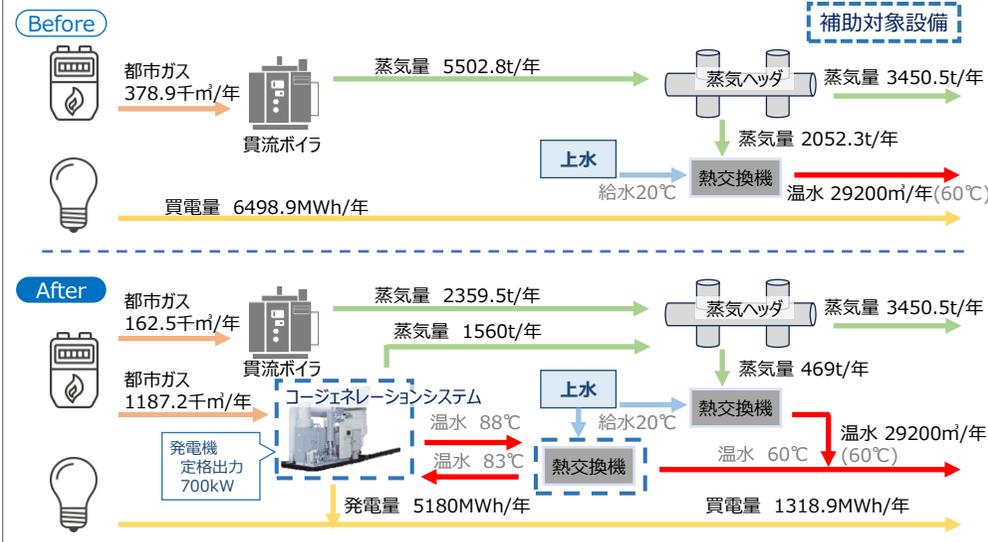
414.4(kl/年)

事業所全体の
省エネルギー率

19.4%

省エネのPOINT

高効率ガスコージェネレーションシステムを導入し、都市ガスで発電を行い電力を削減する。併せて、発生する廃熱を蒸気・温水として利用することにより、ボイラの燃料削減を行う。



主な導入設備



高効率ガスコージェネレーションシステム (完成時)



(防音壁 設置前)



(ガスエンジン・冷却塔 搬入時)

コージェネレーションシステム
廃熱を蒸気、温水として利用し、消費エネルギーを削減。